

第73回 税理士試験

〔簿記論〕

解答・解説レジュメ



資格の学校

TAC

第 7 3 回 税 理 士 試 験 簿 記 論

●はじめに

今回の本試験は、【第一問】で特殊仕訳帳制、自社利用目的のソフトウェア、【第二問】で外貨建取引、【第三問】で製造業会計の総合問題が出題された。全体的にボリュームが少なかったことや、難易度の平易な箇所が存在したことから、例年よりも多くの解答要求について、答案用紙に記入することが可能であった。

また、仕訳問題による勘定科目群からの選択は、近年の本試験の出題傾向として継続されている。出題論点についても多岐に渡る傾向も継続されているため、時間配分を意識した取捨選択・解答手順が合否を分ける結果になると予想される。

Z－73－A〔第一問〕解 答

問 1

(1)	①	1	こ	②	1	さ	③	1	こ
	④	1	さ	⑤	1	く	⑥	1	け
(2)	⑦	1	412,250 円		⑧	1	337,000 円		
	⑨	1	141,300 円		⑩	1	1,682,800 円		

問 2

(1)	①	1	1, 859, 000 円		②	1	1, 471, 000 円		
	③	1	236, 000 円		④	1	4, 548, 600 円		
	⑤	1	752, 600 円		⑥	1	1, 623, 000 円		
	⑦	1	909, 720 円						
(2)	⑧	1	し	⑨	1	き	⑩	1	せ
	⑪	1	し	⑫	1	さ	⑬	1	し
	⑭	1	す	⑮	1	さ			

▶予想配点◀

解答中に記載してあります。

▶合格ライン◀

本問は、問1で特殊仕訳帳制、問2で自社利用目的のソフトウェアが出題された。ボリュームが少なかったため、問2を中心に得点し、時間的な余裕をもって、問1で加点要素を作れたかどうかポイントとなる。これらを考慮し、合格ラインは13～15箇所程度正解し、13～15点になると予想される。

▶解答への道◀(単位：円)

問1

1 期首再振替仕訳

(1) 前払保険料

(支 払 保 険 料)	6,000	(前 払 保 険 料)	6,000
-------------	-------	-------------	-------

(2) 前受手数料

(前 受 手 数 料)	1,800	(受 取 手 数 料)	1,800
-------------	-------	-------------	-------

2 精算勘定に関連する取引

(1) 当座預金出納帳

(当 座 預 金)	324,000	(① (こ) 当 座 売 上)	324,000
(② (さ) 当 座 仕 入)	247,000	(当 座 預 金)	247,000

(2) 売上帳

(③ (こ) 当 座 売 上)	324,000	(売 上)	324,000
(手 形 売 上)	135,000	(売 上)	135,000

(3) 仕入帳

(仕 入)	247,000	(④ (さ) 当 座 仕 入)	247,000
(仕 入)	90,000	(手 形 仕 入)	90,000

(4) 受取手形記入帳

(受 取 手 形)	135,000	(⑤ (く) 手 形 売 上)	135,000
-----------	---------	-----------------	---------

(5) 支払手形記入帳

(⑥ (け) 手 形 仕 入)	90,000	(支 払 手 形)	90,000
-----------------	--------	-----------	--------

3 精算勘定以外の取引

(1) 当座預金出納帳

① 預け入れ

(当 座 預 金) ※2	309,100	(売 掛 金)	87,500
		(受 取 手 形)	92,300
		(有 価 証 券) ※1	22,600
		(受 取 手 数 料)	6,700
		(借 入 金)	100,000

※1 繰越試算表・有価証券66,100－残高試算表・有価証券43,500＝22,600となっているため、売却損益なし。

※2 貸方合計

< T A C > 税23 この解答速報の著作権はT A C (株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

② 引き出し

(買 掛 金)	96,800	(当 座 預 金) ※	227,200
(支 払 手 形)	115,700		
(支 払 手 数 料)	2,700		
(支 払 保 険 料)	12,000		

※ 借方合計

(2) 受取手形記入帳

(受 取 手 形)	31,500	(売 掛 金)	31,500
-----------	--------	---------	--------

(3) 支払手形記入帳

(買 掛 金)	28,400	(支 払 手 形)	28,400
---------	--------	-----------	--------

4 残高試算表

残高試算表		
借 方	勘 定 科 目	貸 方
90,000	現 金	
(⑦ 412,250)	当 座 預 金	
(230,700)	受 取 手 形	
(16,300)	売 掛 金	
64,350	繰 越 商 品	
43,500	有 価 証 券	
220,000	建 物	
120,000	備 品	
128,000	土 地	
	支 払 手 形	(⑨ 141,300)
	買 掛 金	(32,300)
	借 入 金	(178,000)
	貸 倒 引 当 金	13,500
	建物減価償却累計額	72,000
	備品減価償却累計額	22,500
	資 本 金	500,000
	資 本 準 備 金	100,000
	繰越利益剰余金	155,700
	売 上	(459,000)
	受 取 手 数 料	8,500
(⑧ 337,000)	仕 入	
2,700	支 払 手 数 料	
18,000	支 払 保 険 料	
(1,682,800)		(⑩ 1,682,800)

問2

1 X3年度末の振替仕訳

(⑧(し)ソフトウェア仮勘定) ※2	(① 1,859,000	(⑨ (き) 材料費)	62,000
		(労務費) ※1	(② 1,471,000)
		(経費)	326,000

※1 【資料1】 X3年度・労務費より

※2 貸方合計

2 補助プログラムの破棄

(⑩(せ)ソフトウェア廃棄損)	(③ 236,000)	(⑪(し)ソフトウェア仮勘定) ※	(236,000)
-----------------	-------------	-------------------	------------

※ 材料費13,000+労務費176,000+経費47,000=236,000

3 X4年度末の振替仕訳

(⑫(さ)ソフトウェア) ※6	(④ 4,548,600)	(ソフトウェア) ※1	(⑤ 752,600)
		(⑬(し)ソフトウェア仮勘定) ※2	(⑥ 1,623,000)
		(材料費) ※3	(83,000)
		(労務費) ※4	(1,659,000)
		(経費) ※5	(431,000)

※1 $3,763,000 - (3,763,000 \times \frac{1 \text{ 年}}{5 \text{ 年}} \times \text{経過年数} 4 \text{ 年}) = 752,600$

※2 $1,859,000 (\text{上記} 1) - 236,000 (\text{上記} 2) = 1,623,000$

※3 【資料1】 X4年度・材料費より

※4 【資料1】 X4年度・労務費より

※5 【資料1】 X4年度・経費より

※6 貸方合計

4 減価償却

(⑭(す)ソフトウェア償却)	(⑦ 909,720)	(⑮(さ)ソフトウェア) ※	(909,720)
----------------	-------------	----------------	------------

※ $4,548,600 \times \frac{1 \text{ 年}}{5 \text{ 年}} = 909,720$

Z－73－A〔第二問〕解 答

(仕訳の金額の単位：円)

(1)	①	1	け	②	2	70,380,000			
	③	1	す	④	2	1,224,000			
	⑤	1	け	⑥	2	3,672,000			
	⑦	1	し	⑧	1	630,000	⑨	1	か
	⑩	1	す	⑪	1	★ 420,000	⑫	1	★ し
	⑬	1	す	⑭	1	★ 1,496,000	⑮	1	★ せ
(2)	1 73,222,385 円								
(3)	1 6,433,444 円								
(4)	1 7,881,000 円								
(5)	1 88,180,500 円								
(6)	1 182,103,800 円								
(7)	1 5,602,196 円								
(8)	1 2,675,745 円 (借方)								

★ 別解

⑪ 1,496,000

⑫ せ

⑭ 420,000

⑮ し

▶予想配点◀

解答中に記載してあります。

▶合格ライン◀

本問は、為替予約を中心とした外貨建取引の問題であった。難易度は部分的に高い箇所が存在したが、取捨選択が行いやすい問題となっている。(解答要求(6)(7)(8)は解答までの距離が遠いと判断しやすい。) 為替予約については、事前、同時、事後予約と複数のパターンが登場したことでミスが生じやすいが、問題のボリュームが多くないことを考慮すると正解していききたい箇所と思われる。これらを考慮し、合格ラインは13～15箇所程度正解し、16～18点になると予想される。

▶解答への道◀ (単位：円)

I 期首の不明金額の算定

為替予約及び繰延ヘッジ損益：@1,020ドル×600個＝612,000ドル

$$612,000 \text{ドル} \times (\text{決算日 F R 110} - \text{予約日 F R 106}) = 2,448,000$$

II 期中

1 X22年4月1日

(1) 社債の発行

(外 貨 預 金) ※ 66,858,585 (社 債) 66,858,585

※ 581,379ドル×S R 115＝66,858,585

(2) 建物の取得

(建 物) ※ 67,620,000 (外 貨 預 金) 67,620,000

※ 588,000ドル×S R 115＝67,620,000

2 X22年4月30日 (買掛金の決済)

(買 掛 金) ※ 1 34,465,000 (外 貨 預 金) ※ 2 35,075,000

(為 替 差 損 益) ※ 3 610,000

※ 1 期首勘定残高 (一部抜粋)・買掛金より

※ 2 305,000ドル×S R 115＝35,075,000

※ 3 差額

3 X22年5月1日

(1) 商品の仕入

(① (け) 仕 入) ※ ②70,380,000 (買 掛 金) 70,380,000

※ @1,020ドル×600個×S R 115＝70,380,000

(2) 為替予約の時価評価

(③ (す) 為 替 予 約) ※ ④ 1,224,000 (繰 延 ヘ ッ ジ 損 益) 1,224,000

※ @1,020ドル×600個＝612,000ドル

$$612,000 \text{ドル} \times (\text{取引日 F R 112} - \text{決算日 F R 110}) = 1,224,000$$

(3) 繰延ヘッジ損益 (累計) による減殺処理

(繰 延 ヘ ッ ジ 損 益) ※ 3,672,000 (⑤ (け) 仕 入) ⑥ 3,672,000

※ 期首2,448,000＋上記(2)1,224,000＝3,672,000

4 X22年10月31日

(1) 買掛金の決済

(買 掛 金) ※ 1	70,380,000	(外 貨 預 金) ※ 2	74,052,000
(為 替 差 損 益) ※ 3	3,672,000		

※ 1 上記 3 (1) より

※ 2 @1,020ドル×600個=612,000ドル
612,000ドル×S R 121=74,052,000

※ 3 差額

(2) 為替予約の決済

【留意事項】

- 4 入出金は円貨預金口座と外貨預金口座から行う。
9 為替予約実行時の円とドルの受払いは両建てで行う。

(外 貨 預 金) ※ 1	74,052,000	(円 貨 預 金) ※ 2	64,872,000
		(為 替 予 約) ※ 3	3,672,000
		(為 替 差 損 益) ※ 4	5,508,000

※ 1 @1,020ドル×600個=612,000ドル
612,000ドル×S R 121=74,052,000

※ 2 612,000ドル×予約日 F R 106=64,872,000

※ 3 期首2,448,000+上記Ⅱ 3 (2) 1,224,000=3,672,000

※ 4 差額

5 X22年11月 1 日

(1) 商品の仕入

(仕 入) ※	25,410,000	(買 掛 金)	25,410,000
---------	------------	---------	------------

※ @1,050ドル×200個=210,000ドル
210,000ドル×S R 121=25,410,000

(2) 為替予約の締結

仕 訳 な し

6 X23年 3 月 1 日 (為替予約の締結)

仕 訳 な し

7 ドル建社債の約定利息の支払い

【留意事項】

- 10 ドル建てでは端数処理を行わず、円換算後に、1円未満の端数が生じる場合、計算の都度、その端数を切り捨てるものとする。

(1) ドルベースでの把握 (単位: ドル)

(社 債 利 息) ※ 1	52,324.11	(外 貨 預 金) ※ 2	43,200
		(社 債) ※ 3	9,124.11

※ 1 581,379ドル×実効利子率年 9 % = 52,324.11ドル

※ 2 720,000ドル×約定利子率年 6 % = 43,200ドル

※ 3 差額

(2) 円ベースへの換算

(社 債 利 息) ※ 3 6, 433, 444 (外 貨 預 金) ※ 1 5, 356, 800
(社 債) ※ 2 1, 076, 644

※ 1 43, 200 ドル × S R 124 = 5, 356, 800

※ 2 9, 124. 11 ドル × A R 118 = 1, 076, 644 (円未満切捨)

※ 3 貸方合計

∴ 解答要求 (3) 社債利息勘定の決算整理後残高 **6, 433, 444**

Ⅲ 期末

1 売上原価の算定に関する決算整理

(仕 入) 15, 120, 000 (繰 越 商 品) ※ 1 15, 120, 000
(繰 越 商 品) ※ 2 19, 057, 500 (仕 入) 19, 057, 500

※ 1 期首勘定残高 (一部抜粋) ・繰越商品より

※ 2 先入先出法であり、商品 Z の期末棚卸数量は150個であるため、X 22 年 11 月 1 日の仕入 200 個から期末在庫が生じたこととなる。

$$25, 410, 000 \times \frac{150 \text{ 個}}{200 \text{ 個}} = 19, 057, 500$$

∴ 解答要求 (5) 仕入勘定の決算整理後残高

$$70, 380, 000 \text{ (上記Ⅱ 3 (1))} - 3, 672, 000 \text{ (上記Ⅱ 3 (3))} + 25, 410, 000 \text{ (上記Ⅱ 5 (1))} \\ + 15, 120, 000 - 19, 057, 500 = \mathbf{88, 180, 500}$$

2 社債に関する決算整理

(為 替 差 損 益) 5, 287, 156 (社 債) ※ 5, 287, 156

※ (1) C R 換算額 : 581, 379 ドル + 9, 124. 11 ドル = 590, 503. 11 ドル

$$590, 503. 11 \text{ ドル} \times C R 124 = 73, 222, 385 \text{ (円未満切捨)}$$

(2) 帳簿価額 : 66, 858, 585 + 1, 076, 644 = 67, 935, 229

(3) (1) - (2) = 5, 287, 156

∴ 解答要求 (2) 社債勘定の決算整理後残高

$$66, 858, 585 \text{ (上記Ⅱ 1 (1))} + 1, 076, 644 \text{ (上記Ⅱ 7)} + 5, 287, 156 = \mathbf{73, 222, 385}$$

3 外貨預金に関する決算整理

(1) ドルベース及び円ベースの把握

	(ドルベース)	(円ベース)
期 首	400, 000 ドル	45, 200, 000
社債の発行 (上記Ⅱ 1 (1))	+ 581, 379 ドル	+ 66, 858, 585
建物の取得 (上記Ⅱ 1 (2))	△ 588, 000 ドル	△ 67, 620, 000
買掛金の決済 (上記Ⅱ 2)	△ 305, 000 ドル	△ 35, 075, 000
買掛金の決済 (上記Ⅱ 4 (1))	△ 612, 000 ドル	△ 74, 052, 000
為替予約の決済 (上記Ⅱ 4 (2))	+ 612, 000 ドル	+ 74, 052, 000
クーポン利息の支払い	△ 43, 200 ドル	△ 5, 356, 800
期 末	45, 179 ドル	4, 006, 785

∴ 解答要求 (6) 外貨預金勘定の決算整理前貸方合計 (上記、表中の△の数値)

$$67, 620, 000 + 35, 075, 000 + 74, 052, 000 + 5, 356, 800 = \mathbf{182, 103, 800}$$

(2) 期末換算替え

(外 貨 預 金) 1, 595, 411 (為 替 差 損 益) ※ 1, 595, 411

※① C R換算額 : 45, 179ドル× C R124=5, 602, 196

② 帳簿価額 : 4, 006, 785

③ ①－②=1, 595, 411

∴ 解答要求(7)外貨預金勘定の決算整理後残高 5, 602, 196

4 買掛金に関する決算整理

(⑦ (し) 為 替 差 損 益) ⑧ 630, 000 (⑨ (か) 買 掛 金) ※ 630, 000

※① C R換算額 : 210, 000ドル× C R124=26, 040, 000

② 帳簿価額 : 25, 410, 000

③ ①－②=630, 000

5 為替予約に関する決算整理

(1) X22年11月1日の為替予約(同時予約)

(⑩ (す) 為 替 予 約) ※ ⑪ 420, 000 (⑫ (し) 為 替 差 損 益) 420, 000

※ 210, 000ドル× (決算日 F R119－予約日 F R117) =420, 000

∴ 解答要求(8)為替差損益勘定の決算整理後残高

610, 000 (上記Ⅱ 2) +3, 672, 000 (上記Ⅱ 4 (1)) -5, 508, 000 (上記Ⅱ 4 (2)) +5, 287, 156 (上記Ⅲ 2)

-1, 595, 411 (上記Ⅲ 3 (2)) +630, 000 (上記Ⅲ 4) -420, 000=2, 675, 745 (借方)

(2) X23年3月1日の為替予約(繰延ヘッジ)

(⑬ (す) 為 替 予 約) ※ ⑭ 1, 496, 000 (⑮ (せ) 繰 延 ヘ ッ ジ 損 益) 1, 496, 000

※ @1, 100ドル×680個=748, 000ドル

748, 000ドル× (決算日 F R119－予約日 F R117) =1, 496, 000

6 建物の減価償却

(減 価 償 却 費) ※ 7, 881, 000 (建 物 減 価 償 却 累 計 額) 7, 881, 000

※(1) 期首分 $90, 000, 000 \times \frac{1 \text{ 年}}{20 \text{ 年}} =4, 500, 000$

(2) 当期取得分 $67, 620, 000 \times \frac{1 \text{ 年}}{20 \text{ 年}} =3, 381, 000$

(3) (1) + (2) =7, 881, 000

∴ 解答要求(4)減価償却費勘定の決算整理後残高 7, 881, 000

Z－73－A〔第三問〕解 答

(単位：円)

番号	金 額	番号	金 額
①	2 100, 000	㉑	1 11, 000
②	2 18, 078, 000	㉒	1 34, 500, 000
③	1 23, 300, 000	㉓	1 5, 700, 000
④	1 3, 179, 320	㉔	1 17, 700, 320
⑤	1 2, 938, 750	㉕	1 ★ 13, 494, 820
⑥	1 2, 300, 000	㉖	1 590, 000
⑦	1 1, 940, 400	㉗	2 6, 860, 000
⑧	1 18, 620, 000	㉘	1 34, 865, 000
⑨	1 16, 900, 000	㉙	1 ★ 500, 000
⑩	1 3, 350, 000	㉚	1 146, 250
⑪	2 17, 100, 000	㉛	2 20, 703, 125
⑫	1 13, 624, 500	㉜	2 575, 000
⑬	1 257, 113, 500	㉝	2 5, 620, 800
⑭	1 ★ 74, 500, 000	㉞	1 341, 250
⑮	1 6, 219, 000	㉟	1 38, 668, 755
⑯	2 7, 000, 000	㊱	1 38, 000, 000
⑰	1 505, 000	㊲	1 315, 150, 000
⑱	1 407, 750	㊳	2 1, 000, 000
⑲	1 1, 670, 000	㊴	2 837, 500
⑳	1 2, 180, 000	㊵	1 4, 538, 250

★ 別解

⑭ 74, 555, 555

㉕ 13, 478, 153

㉙ 555, 555

▶予想配点◀

解答中に記載してあります。

▶合格ライン◀

本問は商品売買業及び製造業を題材とした決算整理型の総合問題であった。見慣れない論点も多数あったが、取捨選択については比較的しやすい問題であったと思われる。小口現金、当座預金、固定資産、賞与引当金、退職給付引当金など正解しやすい箇所を確実に得点できたかが合否を分けると思われる。なお、合格ラインは15～19箇所程度正解し、25～29点になると思われる。

▶解答への道◀ (単位：円)

1 小口現金

(1) 新聞代の二重支払い

(未 収 入 金)	4,320	(そ の 他 の 費 用) ※ 1	4,000
		(仮 払 消 費 税 等) ※ 2	320

※ 1 $4,320 \times \frac{1}{1.08} = 4,000$

※ 2 $4,320 \times \frac{0.08}{1.08} = 320$

(2) 補給及び原因不明分

(小 口 現 金) ※ 2	36,000	(当 座 預 金) ※ 1	37,000
(雑 損 失) ※ 3	1,000		

※ 1 定額100,000－実際有高63,000＝補給額37,000

※ 2 定額100,000－前T/B小口現金64,000＝36,000

※ 3 差額

2 当座預金

(1) 未取付小切手 (銀行側減算)

(仕 訳 不 要)

(2) 引落未記帳 (甲社側減算)

(電 子 記 録 債 務)	600,000	(当 座 預 金)	600,000
---------------	---------	-----------	---------

(3) 荷為替の取組 (甲社側加算) ⇨ 下記 3 (2) ①参照

(4) 広告代の未払

(未 収 入 金)	275,000	(未 払 金)	275,000
-----------	---------	---------	---------

(5) 小口現金への補給 (甲社側減算) ⇨ 上記 1 (2)参照

(6) 銀行勘定調整表

勘 定 残 高	7,100,000	証 明 書 残 高	19,278,000
(2) 引落未記帳	△ 600,000	(1) 未取付小切手	△ 1,200,000
(3) 荷為替	＋ 11,615,000		
(5) 小口現金	△ 37,000		
修 正 後 残 高	18,078,000	修 正 後 残 高	18,078,000

3 商品A

(1) 貨物代表証券の購入 (3月15日)

(未 着 品) ※	11,760,000	(買 掛 金)	11,760,000
-----------	------------	---------	------------

※ @120ドル×1,000個×S R 98＝11,760,000

(2) 販売及び荷為替の取組

① 売上及び荷為替の取組

(当座預金) ※2 11,615,000 (未着品売上) ※1 15,150,000

(手形売却損) ※3 505,000

(売掛金) ※4 3,030,000

※1 @150ドル×1,000個×SR101=15,150,000

※2 115,000ドル×SR101=11,615,000

※3 (@150ドル×1,000個×80%−115,000ドル) ×SR101=505,000

※4 @150ドル×1,000個×(1−80%) ×SR101=3,030,000

② 売上原価の振替

(仕入) 11,760,000 (未着品) ※ 11,760,000

※ 上記(1)より

(3) 期末換算替

① ドル建て売掛金

(売掛金) ※ 270,000 (為替差損益) 270,000

※ (a) 外貨金額: 7,200,000 ÷ SR96 + @150ドル×1,000個×(1−80%) = 105,000ドル

(b) CR換算額: 105,000ドル×CR100=10,500,000

(c) 帳簿残高: 前T/B 7,200,000 + 3,030,000 (上記(2)より) = 10,230,000

(d) (b) − (c) = 270,000

② ドル建て買掛金

(為替差損益) 740,000 (買掛金) ※ 740,000

※ (a) 外貨金額: 12,000,000 ÷ SR96 + @120ドル×1,000個 = 245,000ドル

(b) CR換算額: 245,000ドル×CR100=24,500,000

(c) 帳簿残高: 前T/B 12,000,000 + 11,760,000 (上記(1)より) = 23,760,000

(d) (b) − (c) = 740,000

(4) 期末評価

(仕入) 300,000 (繰越商品) ※1 300,000

(繰越商品) ※2 3,346,500 (仕入) 3,346,500

(商品評価損) 407,750 (繰越商品) ※3 407,750

※1 前T/Bより

※2 @115ドル×300個×HR97=3,346,500

※3 ① 帳簿価額: @115ドル×50個×HR97=557,750

② 正味売却価額: @3,000×50個=150,000

③ ②−①=△407,750

4 製品B

(1) 原材料

① 当期材料費

(材料費) 4,292,000 (原材料) ※1 4,292,000

(原材料) ※2 1,960,000 (材料費) 1,960,000

※1 前T/Bより

※2 $93,688,000 \times \frac{400\text{kg}}{19,120\text{kg}} = 1,960,000$

② 減耗

(加工費) ※ 19,600 (原材料) 19,600

$$\text{※ } 1,960,000 \times \frac{400\text{kg} - 396\text{kg}}{400\text{kg}} = 19,600$$

(2) 加工費

① 労務費の見越計上

(加工費) 5,000,000 (未払費用) 5,000,000

② 諸経費の繰延

(前払費用) 3,000,000 (加工費) 3,000,000

5 固定資産

(1) I 工場

(加工費) ※ 4,687,500 (I 工場減価償却累計額) 4,687,500

$$\text{※ } 75,000,000 \times \frac{1\text{年}}{16\text{年}} = 4,687,500$$

(2) L 機械

① 期首 (前T/B) 減価償却累計額

$$(a) \text{ X2年3月31日 : } 9,000,000 \times 0.200 \times \frac{5\text{月}}{12\text{月}} = 750,000$$

$$(b) \text{ X3年3月31日 : } (9,000,000 - 750,000) \times 0.200 = 1,650,000$$

$$(c) \text{ X4年3月31日 : } (9,000,000 - 750,000 - 1,650,000) \times 0.200 = 1,320,000$$

$$(d) \text{ X5年3月31日 : } (9,000,000 - 750,000 - 1,650,000 - 1,320,000) \times 0.200 = 1,056,000$$

$$(e) (a) + (b) + (c) + (d) = 4,776,000$$

② 減価償却費

(加工費) ※ 844,800 (L 機械減価償却累計額) 844,800

$$\text{※ } (9,000,000 - 4,776,000) \times 0.200 = 844,800$$

(3) J 倉庫及び商品A (火災)

① 商品A

(仮受金) 2,000,000 (火災未決算) ※1 1,662,500

(保険差益) ※2 337,500

$$\text{※1 } ① \text{ 滅失経費 : 前T/B火災未決算 } 15,162,500 - \text{帳簿価額 (商品A } 1,600,000 + \text{J 倉庫 } 13,062,500) = 500,000$$

$$\text{② } 1,600,000 + 500,000 \times \frac{2,000,000}{2,000,000 + 14,000,000} = 1,662,500$$

※2 差額

② J 倉庫

(仮受金) 14,000,000 (火災未決算) ※1 13,500,000

(保険差益) ※2 500,000

$$\text{※1 } 13,062,500 + 500,000 \times \frac{14,000,000}{2,000,000 + 14,000,000} = 13,500,000$$

※2 差額

(4) K倉庫

① 内装等の変更費用

(K 倉 庫) ※ 1	3,000,000	(仮 払 金)	3,300,000
(仮 払 消 費 税 等) ※ 2	300,000		

$$\text{※ 1} \quad 3,300,000 \times \frac{1}{1.1} = 3,000,000$$

$$\text{※ 2} \quad 3,300,000 \times \frac{0.1}{1.1} = 300,000$$

② 減価償却費

(K 倉 庫 減 価 償 却 費) ※	575,000	(K 倉 庫 減 価 償 却 累 計 額)	575,000
---------------------	---------	-----------------------	---------

$$\text{※} \quad (20,000,000 + 3,000,000) \times \frac{1 \text{ 年}}{20 \text{ 年}} \times \frac{6 \text{ 月}}{12 \text{ 月}} = 575,000$$

③ 圧縮記帳

(a) 積立

(法 人 税 等 調 整 額)	150,000	(繰 延 税 金 負 債) ※ 1	150,000
(繰 越 利 益 剰 余 金)	350,000	(圧 縮 積 立 金) ※ 2	350,000

$$\text{※ 1} \quad \text{圧縮額 (保険差益)} 500,000 \times 30\% = 150,000$$

$$\text{※ 2} \quad \text{圧縮額 (保険差益)} 500,000 \times (1 - 30\%) = 350,000$$

(b) 取崩

(繰 延 税 金 負 債) ※ 1	3,750	(法 人 税 等 調 整 額)	3,750
(圧 縮 積 立 金) ※ 2	8,750	(繰 越 利 益 剰 余 金)	8,750

$$\text{※ 1} \quad 500,000 \times \frac{1 \text{ 年}}{20 \text{ 年}} \times \frac{6 \text{ 月}}{12 \text{ 月}} \times 30\% = 3,750$$

$$\text{※ 2} \quad 500,000 \times \frac{1 \text{ 年}}{20 \text{ 年}} \times \frac{6 \text{ 月}}{12 \text{ 月}} \times (1 - 30\%) = 8,750$$

6 貸倒引当金

(貸 倒 引 当 金 繰 入) ※	290,000	(貸 倒 引 当 金)	290,000
-------------------	---------	-------------	---------

$$\text{※} \quad (1) \text{ 売掛金 : 前T/B } 20,000,000 + 3,030,000 + 270,000 = 23,300,000$$

$$(2) \text{ 電子記録債権 : 前T/B } 3,020,680$$

$$(3) \text{ 未収入金 : 前T/B } 2,900,000 + 4,320 + 275,000 = 3,179,320$$

$$(4) ((1) + (2) + (3)) \times 2\% = 590,000$$

$$(5) (4) - \text{前T/B } 300,000 = 290,000$$

7 賞与引当金

(1) 賞与引当金の繰入処理

(加 工 費) ※ 2	2,744,000	(賞 与 引 当 金) ※ 1	6,860,000
(賞 与 引 当 金 繰 入) ※ 3	4,116,000		

$$\text{※ 1} \quad 10,500,000 \times \frac{4 \text{ 月}}{6 \text{ 月}} \times (1 - 2\%) = 6,860,000$$

$$\text{※ 2} \quad 6,860,000 \times 40\% = 2,744,000$$

$$\text{※ 3} \quad \text{差額}$$

< T A C > 税23 この解答速報の著作権はT A C (株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

8 退職給付引当金

(1) 退職給付費用の計上 (期首分)

(加 工 費) ※ 2 4,130,000 (退 職 給 付 引 当 金) ※ 1 10,325,000

(退 職 給 付 費 用) ※ 3 6,195,000

※ 1 ① 勤務費用 : 8,000,000

② 利息費用 : $80,000,000 \times 4\% = 3,200,000$

③ 期待運用収益 : $50,000,000 \times 2\% = 1,000,000$

④ 数理計算上の差異の費用処理 : $500,000 \times \frac{1 \text{ 年}}{5 \text{ 年} - 1 \text{ 年}} = 125,000$

(注) 実際運用収益が期待運用収益を下回ったことにより生じたものであるため、損失 (不利差異) となる。

⑤ ① + ② - ③ + ④ = 10,325,000

※ 2 $10,325,000 \times 40\% = 4,130,000$

※ 3 差額

(2) 退職一時金

(退 職 給 付 引 当 金) 5,000,000 (仮 払 金) 5,000,000

(3) 数理計算上の差異の当期発生額の費用処理

(加 工 費) ※ 2 16,000 (退 職 給 付 引 当 金) ※ 1 40,000

(退 職 給 付 費 用) ※ 3 24,000

※ 1 ① 数理計算上の差異の当期発生額 : 期待運用収益1,000,000 - 実際運用収益800,000 = 200,000 (損失)

② 当期費用処理額 : $200,000 \times \frac{1 \text{ 年}}{5 \text{ 年}} = 40,000$

※ 2 $40,000 \times 40\% = 16,000$

※ 3 差額

9 インセンティブ報酬

(1) X4年 P S U

(役 員 報 酬) 14,000,000 (株 式 引 受 権) 14,000,000

(2) X5年 S A R

(役 員 報 酬) ※ 500,000 (株 式 報 酬 引 当 金) 500,000

※ @200 × 10,000株 × $\frac{9 \text{ 月}}{36 \text{ 月}} = 500,000$

10 出資金

(出 資 金) 1,000,000 (投 資 利 益) 1,000,000

11 仕掛品及び製品の評価

(1) 当期総製造費用の仕掛品勘定への振替

(仕 掛 品) ※ 3 333,860,000 (材 料 費) ※ 1 96,020,000

(加 工 費) ※ 2 237,840,000

※ 1 期首4,292,000 + 仕入93,688,000 - 期末帳簿1,960,000 = 96,020,000

※ 2 前T/B 223,398,100 + 材料減耗19,600 + 見越5,000,000 - 繰延3,000,000 + I 工場4,687,500

+ L 機械844,800 + 賞引2,744,000 + 退費 (4,130,000 + 16,000) = 237,840,000

※ 3 貸方合計

(2) 異常減損費及び当期総製造費用

(異常減損費) ※	2,180,000	(仕掛品)	2,180,000
(製品) ※	324,480,000	(仕掛品)	324,480,000
※			

材 料 費			
5,900,000	期首 600個	完成 9,600個	
96,020,000	当期投入※1 9,800個	異常減損 100個	⇒ 980,000 (※2)
		期末 700個	⇒ 6,860,000 (※3)

※1 完成9,600個＋減損100個＋期末700個－期首600個＝当期投入9,800個

※2 $(5,900,000 + 96,020,000) \times \frac{100\text{個}}{600\text{個} + 9,800\text{個}} = 980,000$

※3 $(5,900,000 + 96,020,000) \times \frac{700\text{個}}{600\text{個} + 9,800\text{個}} = 6,860,000$

加 工 費			
5,520,000	期首※1 240個	完成 9,600個	
237,840,000	当期投入※4 9,900個	異常減損※2 50個	⇒ 1,200,000 (※5)
		期末※3 490個	⇒ 11,760,000 (※6)

※1 期首600個×40％＝240個

※2 減損100個×50％＝50個

※3 期末700個×70％＝490個

※4 完成9,600個＋減損50個＋期末490個－期首240個＝当期投入9,900個

※5 $(5,520,000 + 237,840,000) \times \frac{50\text{個}}{240\text{個} + 9,900\text{個}} = 1,200,000$

※6 $(5,520,000 + 237,840,000) \times \frac{490\text{個}}{240\text{個} + 9,900\text{個}} = 11,760,000$

∴ 異常減損費：材料費980,000＋加工費1,200,000＝2,180,000

当期製品製造原価：期首仕掛品11,420,000＋総製造費用333,860,000－減損2,180,000

－期末仕掛品 (6,860,000＋11,760,000) ＝324,480,000

13 決算整理後残高試算表

借 方		貸 方	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
小 口 現 金	① 100,000	買 掛 金	② 34,500,000
当 座 預 金	② 18,078,000	電 子 記 録 債 務	1,900,000
売 掛 金	③ 23,300,000	未 払 金	6,275,000
電 子 記 録 債 権	3,020,680	前 受 収 益	800,000
未 収 入 金	④ 3,179,320	未 払 費 用	⑳ 5,700,000
繰 越 商 品	⑤ 2,938,750	未 払 消 費 税 等	㉑ 17,700,320
未 着 品	⑥ 2,300,000	未 払 法 人 税 等	㉒ 13,494,820
原 材 料	⑦ 1,940,400	貸 倒 引 当 金	㉓ 590,000
仕 掛 品	⑧ 18,620,000	賞 与 引 当 金	㉔ 6,860,000
製 品	⑨ 16,900,000	長 期 借 入 金	20,000,000
前 払 費 用	⑩ 3,350,000	退 職 給 付 引 当 金	㉕ 34,865,000
I 工 場	75,000,000	株 式 報 酬 引 当 金	㉖ 500,000
K 倉 庫	23,000,000	繰 延 税 金 負 債	㉗ 146,250
L 機 械	9,000,000	そ の 他 の 負 債	31,146,000
土 地	50,000,000	I 工 場 減 価 償 却 累 計 額	㉘ 20,703,125
出 資 金	61,000,000	K 倉 庫 減 価 償 却 累 計 額	㉙ 575,000
自 己 株 式	㉚ 17,100,000	L 機 械 減 価 償 却 累 計 額	㉚ 5,620,800
繰 延 税 金 資 産	㉛ 13,624,500	その他の資産減価償却累計額	25,000,000
そ の 他 の 資 産	163,500,000	資 本 金	110,000,000
仕 入	㉜ 257,113,500	資 本 準 備 金	10,000,000
製 品 売 上 原 価	320,580,000	そ の 他 資 本 剰 余 金	30,000,000
役 員 報 酬	㉝ 74,500,000	利 益 準 備 金	20,000,000
給 料 手 当	58,000,000	圧 縮 積 立 金	㉞ 341,250
賞 与	40,000,000	繰 越 利 益 剰 余 金	㉟ ※ 38,668,755
賞 与 引 当 金 繰 入	4,116,000	株 式 引 受 権	㊱ 38,000,000
退 職 給 付 費 用	㉞ 6,219,000	商 品 売 上	80,000,000
K 倉 庫 減 価 償 却 費	575,000	未 着 品 売 上	㊲ 315,150,000
貸 倒 引 当 金 繰 入	290,000	製 品 売 上	480,000,000
賃 借 料	5,000,000	受 取 利 息	210,000
租 税 公 課	㉟ 7,000,000	投 資 利 益	㊳ 1,000,000
そ の 他 の 費 用	52,008,350	雑 収 入	500,000
支 払 利 息	1,000,000	保 険 差 益	㊴ 837,500
手 形 売 却 損	㊵ 505,000	法 人 税 等 調 整 額	㊵ 4,538,250
商 品 評 価 損	㊶ 407,750		
為 替 差 損 益	㊷ 1,670,000		
異 常 減 損 費	㊸ 2,180,000		
雑 損 失	㊹ 11,000		
法 人 税 等	18,494,820		
合 計	1,355,622,070	合 計	1,355,622,070

※ 貸借差額

< T A C > 税23 この解答速報の著作権はT A C (株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

<別解>

上記 9 (2) インセンティブ報酬 (X5年 S A R) について、付与日がX5年 6 月28日であることから、当期に帰属する月数を10月と考えることができる。当期に帰属する月数を10月とした場合、上記 9 (2) 及び12(3)の仕訳が以下のとおりとなる。

9 インセンティブ報酬

(2) X5年 S A R

(役 員 報 酬) ※ 555,555 (株 式 報 酬 引 当 金) 555,555

※ @200×10,000株× $\frac{10\text{月}}{36\text{月}}$ =555,555

12 租税公課

(3) 法人税等

(法 人 税 等) ※ 1 18,478,153 (租 税 公 課) 5,000,000
(未 払 法 人 税 等) ※ 2 13,478,153

※ 1 ① 税引前当期純利益：収益877,697,500－費用831,231,155＝46,466,345

② 46,466,345×30%＋法調4,538,250＝18,478,153

※ 2 差額

これにより、上記13の決算整理後残高試算表の金額が以下のとおりとなる。

- ⑭ 役員報酬 74,555,555
法人税等 18,478,153
- ⑮ 未払法人税等 13,478,153
- ⑲ 株式報酬引当金 555,555

●おわりに

予想配点による採点では、ボーダーラインは54点、62点で合格確実と思われる。
なお、この解答速報を見て不安になった受験生も多いと思うが、受験の条件は全ての受験生に平等なのであるから、自分を信じて、今後の学習計画の立案に入って頂きたいと思う。

夏のオンラインイベント(無料)に参加しよう！

～簿記・財表・法人・所得・相続・消費～ 科目別攻略Zoomセミナー

要予約

※各セミナー
先着400名まで

Zoomでライブ配信！ 予約はこちらから

https://www.tac-school.co.jp/kouza_zeiri/zeiri_summersemi.html



税理士試験は科目ごとに出题傾向が大きく異なるため、TACでは科目別に「合格戦略」を立てて教材・カリキュラムを制作し、それに則して講義を展開しています。当Zoomセミナーでは、簿記・財表・法人・所得・相続・消費の6科目について、各科目の学習内容、試験傾向、学習上のポイント等を担当講師が解説するとともに、8月～9月に開講する各コースについてご案内します。また、セミナー終了後には、ZoomのQ&A機能を使用した質疑応答も行います。当セミナーで疑問や不安を解消して、スムーズに学習をスタートさせましょう！

●開催日時及び担当講師

簿記論
8/23(水)
19:30～20:30



安部 洋平

所得税法
8/16(水)
19:30～20:30



信澤 奈津美

財務諸表論
8/18(金)
19:30～20:30



渡辺 俊宏

相続税法
8/27(日)
13:00～14:00



阿部 史生

法人税法
8/27(日)
10:30～11:30



櫻井 洋

消費税法
8/21(月)
19:30～20:30



二宮 良之

セミナー内容

- 科目の特徴(学習内容・試験傾向・学習上のポイント)
- 8月～9月入学コースの紹介
- 質疑応答

こんな方に オススメ

- はじめて該当科目を学習される方
- 科目選択や受講するコースをお悩みの方
- 該当科目の学習にあたって疑問や不安をお持ちの方

～酒税・固定・事業・住民・国徴～ ミニ税法徹底比較！

TAC 税理士講座ホームページで 配信！

https://www.tac-school.co.jp/kouza_zeiri/tacchannel.html



ミニ税法(酒税法・固定資産税・事業税・住民税・国税徴収法)は、試験科目の中でも比較的学習ボリュームが少ない科目です。当セミナーでは、各科目の学習内容や試験傾向、学習上のポイントを解説し、徹底比較します。科目選択で迷われている方は必見です！

セミナー内容

- ミニ税法5科目のオススメポイント
- 科目選択の判断方法

こんな方に オススメ

- 9月からミニ税法の学習を検討されている方
- 科目選択で迷われている方

セミナー担当講師

TAC 税理士講座講師
固定資産税

松葉 貴

配信予定:
8/11(金)～



～今が就活最前線！～ どこよりも早い傾向分析と対策！

要予約

※先着400名まで

Zoomでライブ配信！ 予約はこちらから

https://www.tac-school.co.jp/kouza_zeiri/zeiri_summersemi.html



税理士試験が終わって1週間。今が、会計業界就活最前線です！「この夏の就活にはどんな変化が起こっているのか？」「今からでも間に合う、効果的な対策は？」などについて、夏の就職説明会の最新データから紐解いていきます。他業界に比べて変化の激しい会計業界。最新の情報収集が就職活動の勝負を決めます。今まさに就職活動中の方も、これからという方も、ぜひご覧いただきたい内容です！

セミナー内容

- 2023年の夏の就職説明会の傾向分析
- 今からでも間に合う効果的な対策
- 質疑応答

こんな方に オススメ

- 最新の会計業界の情報を知りたい方
- これから就職活動を行う際のポイントを知りたい方

セミナー担当講師

TAC プロフェッションバンク
人材コンサルタント

小倉 亮介

開催日時:
8/17(木) 19:30～20:30



本試験の振り返りが 次のスタートに活きる!

8/14(月)
17:00より
公開予定!

- ① 本試験後の
「受験プランニング」
- ② 第73回税理士試験
「解答解説会」Web配信
- ③ 講師インタビュー 簿記・財表・法人・所得・相続・消費
「本試験の所感と合格ライン」

https://www.tac-school.co.jp/kouza_zeiri.html



■TACのサービスをご紹介

デジタル教材

デジタル教材を活用してスマート学習!



移動などのスキマ時間の
学習効率UP

電車の中や外出先でも
教材を広げることなく学習できる!



スマホやタブレットで
教材を持ち運び

デジタル教材ならたくさんの教材を持ち運ばず、
スマホやタブレット1台で楽々持ち運び!



便利機能も充実

キーワード検索やマーカー機能、
メモ書き機能で暗記箇所などをポイント学習!

https://www.tac-school.co.jp/kouza_zeiri/digital_kyouzai.html

